

### NYマーケットレポート (2015年3月13日)

NY市場では、序盤に発表された米生産者物価指数が予想外の悪化となり、4ヵ月連続のマイナスとなったことや、ミシガン大学消費者信頼感指数が昨年11月以来4ヵ月ぶりの低水準となったことを受けて、米経済に対する楽観的な見方が後退し、米主要株価が大きく下落する動きとなった。これを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、円を買う動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、終盤には株価が下げ幅を縮小したことから、やや値を戻す動きとなった。ユーロは、引き続き量的緩和の実施が影響して、主要通貨に対して軟調な動きとなった。特に、対ドルでは、2003年1月以来、対円で2013年6月以来の安値を付ける動きとなった。

## 2015/3/13 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	121.34	121.58	121.29
EUR/JPY	128.77	128.98	128.36
GBP/JPY	180.52	180.76	180.36
AUD/JPY	93.28	93.54	93.15
EUR/USD	1.0614	1.0629	1.0573

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	121.53	121.33
EUR/JPY	129.06	128.35
GBP/JPY	180.76	179.81
AUD/JPY	93.40	92.85
EUR/USD	1.0635	1.0563

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19254.25	+263.14
ハンセン指数	23823.21	+25.25
上海総合	3372.91	+23.59
韓国総合指数	1985.79	+15.20
豪ASX200	5814.54	-35.63
インドSENSEX指数	28503.30	-427.11
シンガポールST指数	3362.77	-10.83

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6740.58	-20.49
仏CAC40	5010.48	+23.13
独DAX	11901.61	+102.22
ST欧州600	396.61	+1.25
西IBEX35指数	11033.80	+22.00
伊FTSE MIB指数	22713.59	-95.42
南ア 全株指数	51798.74	-441.32

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	121.37	121.57	121.14
EUR/JPY	127.35	128.60	126.90
GBP/JPY	178.98	179.89	178.25
AUD/JPY	92.61	93.10	92.31
NZD/JPY	88.95	89.31	88.69
EUR/USD	1.0494	1.0599	1.0462
AUD/USD	0.7632	0.7669	0.7610

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17749.31	-145.91
S&P500	2053.40	-12.55
NASDAQ	4871.76	-21.53
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	14731.50	-39.22
ロシア ボルサ指数	44002.29	-53.60
ブラジル ボベスパ指数	48595.81	-284.59

### 3/16 経済指標スケジュール

09:01	【英】3月ライトムーブ住宅価格
09:30	【豪】2月新車販売台数
13:00	【日】2月首都圏新規マンション発売
17:00	【トルコ】12月失業率
17:15	【スイス】2月生産者輸入価格
17:15	【スイス】1月実質小売売上高
18:00	【ノルウェー】2月貿易収支
21:30	【カナダ】1月国際証券取扱高
21:30	【米】3月ニューヨーク連銀製造業景気指数
22:00	【カナダ】2月中古住宅販売件数
22:00	【ポーランド】1月経常収支
22:00	【ポーランド】1月貿易収支
22:15	【米】2月鉱工業生産
22:15	【米】2月設備稼働率
23:00	【米】3月NAHB住宅市場指数
05:00	【米】1月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1152.40	+0.50
NY 原油	44.84	-2.21
CMEコーン	380.50	-8.00
CBOT 大豆	974.00	-16.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.66%	0.66%
3年債	1.07%	1.07%
5年債	1.59%	1.59%
7年債	1.92%	1.92%
10年債	2.12%	2.11%
30年債	2.70%	2.70%

### 3/16 主要会議・講演・その他予定


(出所: SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 121.50 ユーロ/円 128.40 ユーロ/ドル 1.0569

21:00

欧州株式市場

米主要株	株価	前日比
英 FT100	6745.02	-16.05
仏 CAC40	4978.24	-9.09
独 DAX	11770.87	-28.52

(出所: SBILM)

CME は、ダウとナスダック指数先物の電子取引を終了した。

21:30

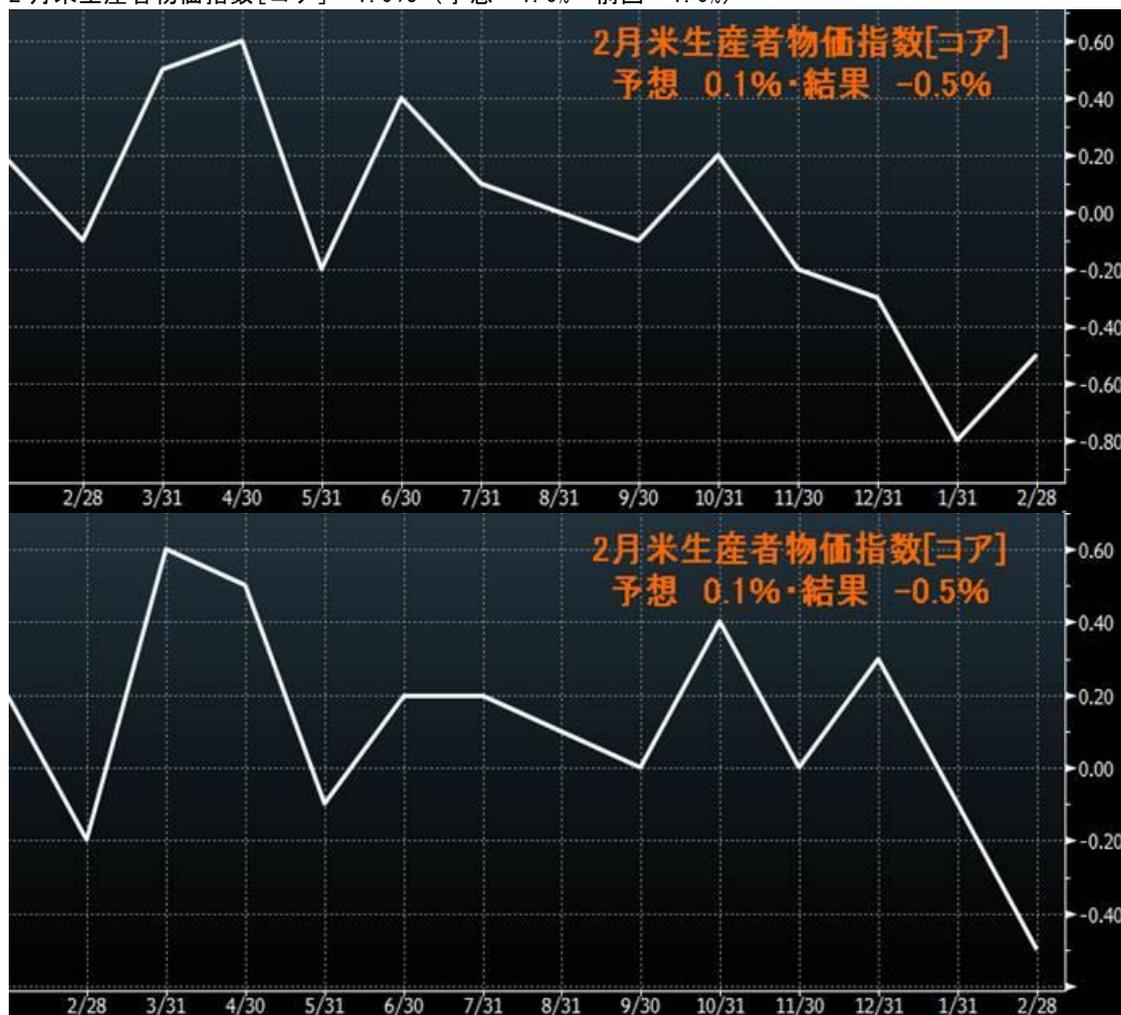
◀ 経済指標の結果 ▶

2月米生産者物価指数(前月比) -0.5% (予想 0.3%・前回 -0.8%)

2月米生産者物価指数[コア] -0.5% (予想 0.1%・前回 -0.1%)

2月米生産者物価指数(前年比) -0.6% (予想 0.0%・前回 0.0%)

2月米生産者物価指数[コア] 1.0% (予想 1.6%・前回 1.6%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《生産者物価指数》

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
完成品	-0.5	-0.8	-0.2	-0.2	0.2	-0.2
除く食品・エネルギー	-0.5	-0.2	0.1	0.0	-0.1	0.2
エネルギー全体	0.0	-10.3	-6.2	-3.7	-2.6	-0.9
消費財	-0.4	-2.1	-1.1	-0.7	-0.4	-0.1
サービス	-0.5	-0.2	0.3	0.1	0.6	-0.3

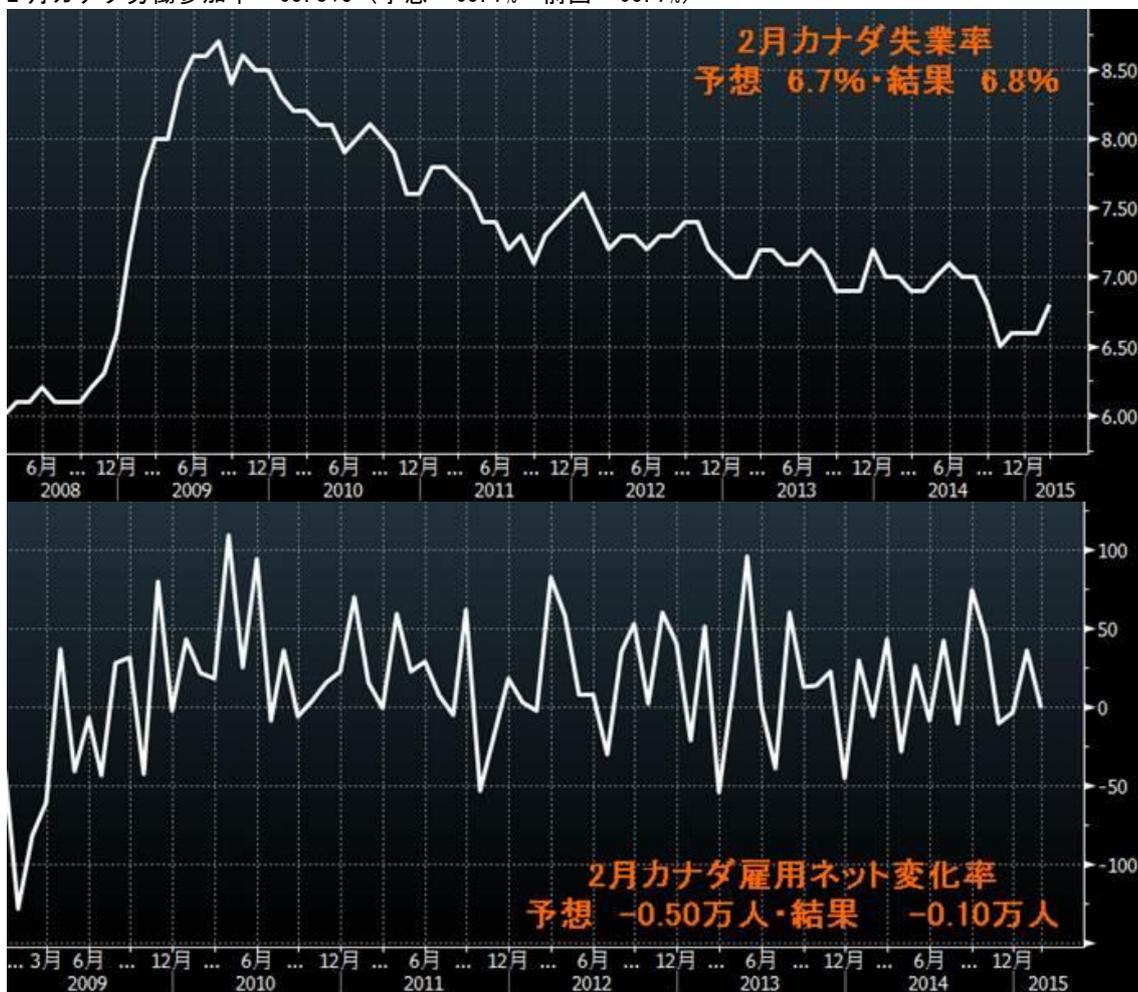
21:30

《 経済指標の結果 》

2月カナダ失業率 6.8% (予想 6.7%・前回 6.6%)

2月カナダ雇用ネット変化率 -0.10万人 (予想 -0.50万人・前回 3.54万人)

2月カナダ労働参加率 65.8% (予想 65.7%・前回 65.7%)

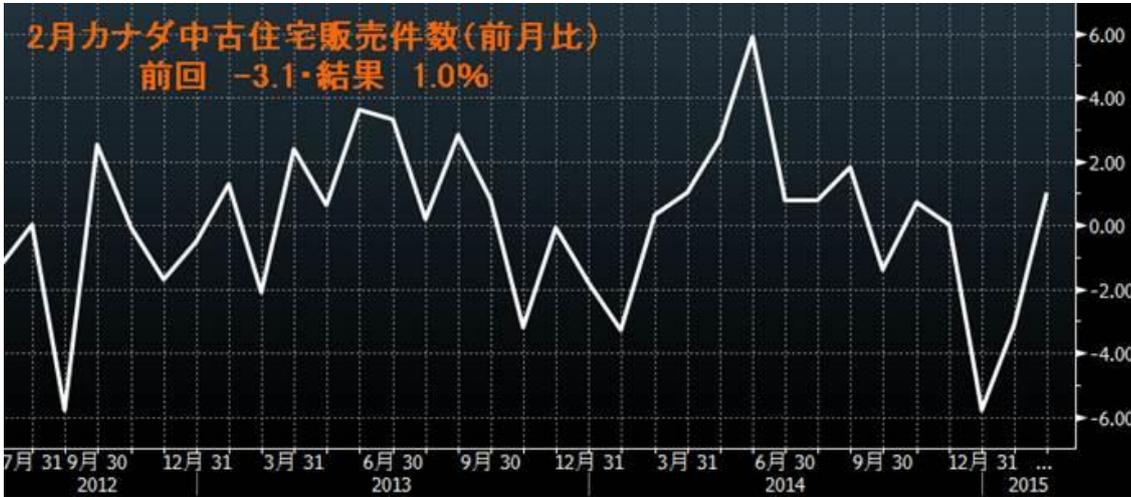


(出所:ブルームバーグ)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月カナダ中古住宅販売件数(前月比) 1.0%(前回 -3.1%)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月ポーランド消費者物価指数(前月比) -0.1%(予想 0.0%・前回 -0.2%)

2月ポーランド消費者物価指数(前年比) -1.6%(予想 -1.3%・前回 -1.4%)

前回発表の-1.3%から-1.4%に修正



(出所:ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17810.41	-84.81
ナスダック	4881.81	-11.48

(出所:SBILM)

＜海外の話題＞

ロシア中銀は、主要政策金利を 15.00%から 14.00%に引き下げた。インフレ率はなお高止まりしているが、経済の支援を優先させた。中銀は、リスク低減の度合いを見極めながら、一段の利下げを行う用意を整えている。利下げは今年 2 度目。1 月には 2%の利下げを実施した。1 月の利下げは予想外だったが、今回は経済指標が急激に悪化していること、通貨ルーブル相場が安定化の兆しを見せていることなどで、利下げはおおむね予想されていた。

23 : 00

＜ 経済指標の結果 ＞

3 月ミシガン大学消費者信頼感指数 91.2 (予想 95.5・前回 95.4)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

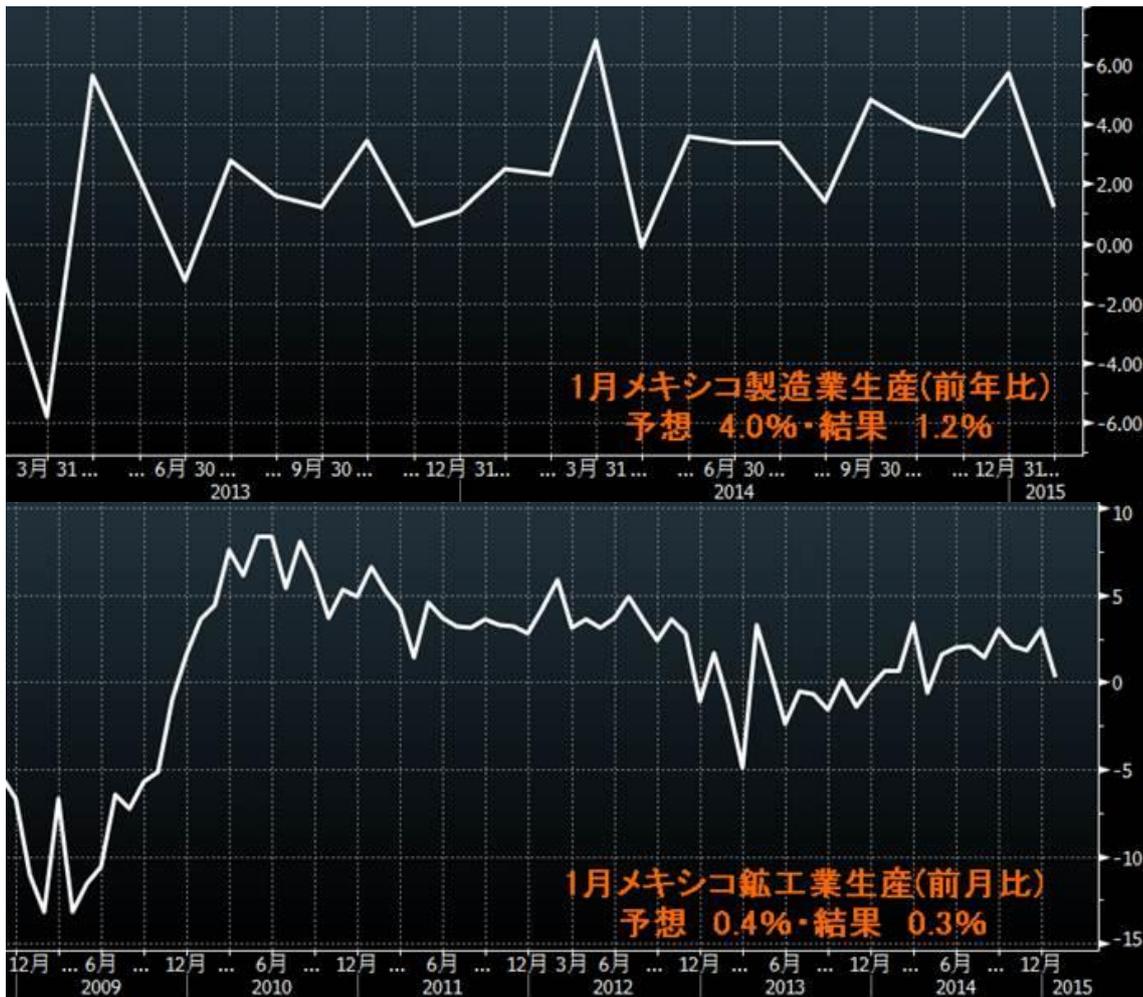
＜ミシガン大学消費者信頼感指数＞

	3月速報	・2月	・1月	・12月	・11月	・10月
消費者信頼感	91.2	95.4	98.1	93.6	88.8	86.9
景気現況指数	103.0	106.9	109.3	104.8	102.7	98.3
消費者期待指数	83.7	88.0	91.0	86.4	79.9	79.6
1年インフレ	3.0	2.8	2.5	2.8	2.8	2.9
5年インフレ	2.8	2.7	2.8	2.8	2.6	2.8

23 : 00

＜ 経済指標の結果 ＞

1 月メキシコ製造業生産 (前年比)	1.2%	(予想 4.0%・前回 5.7%)
1 月メキシコ鉱工業生産 (前月比)	0.3%	(予想 0.4%・前回 -0.3%)
1 月メキシコ鉱工業生産 (前年比)	-0.4%	(予想 2.2%・前回 3.0%)



23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、物価関連の経済指標が市場予想を下回り、米経済への楽観的な見方が後退したことを受けて、主要株価は売りが先行した。特に、原油相場が続落したことを受けて、業績悪化懸念から石油セクターが売られている。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きが続いており、一時前日比で 141 ドル安まで下げる動きとなっている。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 2月の米生産者物価指数は、モノとサービスを合わせた総合で前月比-0.5%となり、市場予想の+0.3%に反し4ヵ月連続で低下した。前年同月比では-0.6%となった。変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースの総合指数は前月比-0.5%、前年同月比は+1.0%となった。また、食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースでは、前月比横ばい、前年同月比は+0.7%となった。

① 貿易の手数料などが下落しサービスがマイナスとなった。また、食品価格の値下がりモノの需要も低下が続き、物価全体を押し下げた。

② 品目別では、エネルギー製品は横ばい、ガソリンは+1.5%、食品は-1.6%、手数料や輸送コストなどのサービスは-0.5%、貿易が-1.5%、輸送・倉庫は-1.5%となった。

(2) 3月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は、市場予想の95.5を下回る91.2となり、2月の確報値から4.2ポイント低下し、昨年11月以来4カ月ぶりの低水準となった。現状指数は103.0と2月確報値から3.9ポイント低下、先行き指数は83.7と2月確報値から4.3ポイント低下、また、1年後のインフレ期待は3.0%と2月確報値から0.2ポイント上昇した。

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17670.05 (-225.17)、S&P500 2043.94 (-22.01)、ナスダック 4852.21 (-41.08)

《ポイント》

IEA（国際エネルギー機関）は、石油月報で、最近の原油価格の落ち着きは一時的に過ぎず、再び値下がりする可能性がある」と指摘した。IEAは米国での新型石油「シェールオイル」の掘削減少が価格持ち直しの要因だと分析。一方、米国の原油供給量は減っておらず、供給過剰が強まる恐れがあると説明した。

利上げ時期の観測が早まるドル高イベントというのが基本シナリオで、すでに足元ではドル全面高の様相が強まっている。ただ、米国内からドル高批判が出やすくなっており、これまで静観していたFOMCが懸念を示すようなら、利上げ期待が後退しかねない。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、来週の米FOMCを前に、一旦利益を確定させるための売りが出る一方、米卸売物価指数やミシガン大消費者信頼感指数が市場予想を下回ったことで買いも入り、もみ合いの展開となった。

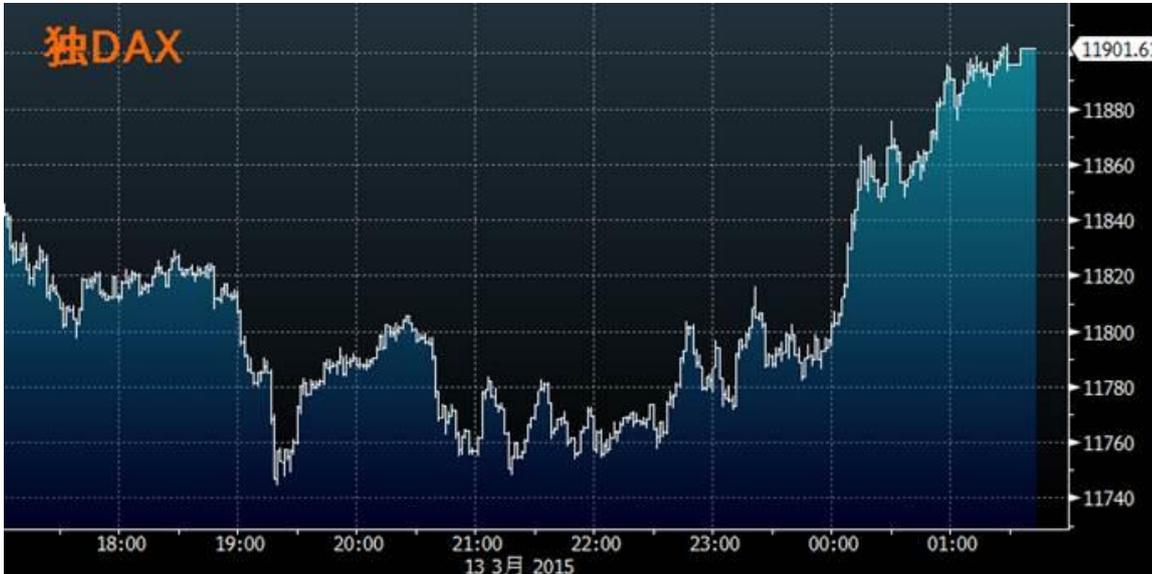
午前の利回りは、30年債が2.69%（前日2.69%）、10年債が2.10%（2.11%）、7年債が1.90%（1.92%）、5年債が1.57%（1.59%）、3年債が1.05%（1.08%）、2年債が0.65%（0.66%）。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6740.58	-20.49
仏 CAC40	5010.48	+23.13
独 DAX	11901.61	+102.22
ストック欧州 600 指数	396.61	+1.25
ユーロファースト 300 指数	1578.82	+4.10
スペイン IBEX35 指数	11033.80	+22.00
イタリア FTSE MIB 指数	22713.59	-95.42
南ア アフリカ全株指数	51798.74	-441.32

(出所:SBILM)

## 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。独 DAX は、ドイツ企業の業績改善期待を背景に、堅調な動きでとなった。一方、英 FT100 は、原油価格の下落で石油関連株などが下落したことが全体を圧迫した。



(出所:ブルームバーグ)

## 《欧州のポイント》

①英中銀の高官は、市場参加者は、ここ数カ月に起きたような市場の混乱がより頻繁に起こる可能性に留意すべきだとの考えを示した。世界経済への警戒感を背景とした昨年 10 月の米国債利回り低下と、今年 1 月のスイス中銀によるスイスフランの対ユーロ上限廃止を受けたフラン急騰に言及。このふたつの出来事は、市場の変動や流動性の低下がいかに急激に起こり得るかを浮き彫りにしたと指摘した。どちらの場合も市場の混乱は数週間でおさまり、他の市場への波及は避けられたが、常にそうなるとは限らないと語った。

②ツィプラス・ギリシャ首相は、先月 20 日にユーロ圏財務相と合意した金融支援策延長について、ギリシャは約束通りすでに経済改革などを実行し始めており、自らの責任を果たしているとの認識を示した。一方、ユーロ圏に対しては、「ユーロ圏はギリシャ国民に実行や義務を言い募るだけではなく、希望というメッセージを送るべき時ではないか」とギリシャへの態度を変えるよう要求した。ユーロ圏財務相は、先月、ギリシャ支援の 4 ヶ月延長で合意したが、ギリシャが実際に融資を受けるには、ギリシャが提出した財政構造改革案の詳細について、4 月末までにユーロ圏から承認を得る必要がある。

③ギリシャ統計局が発表した 2014 年の GDP 速報値は+0.8%となった。実質 GDP は 1865 億ユーロ、2013 年は 1851 億ユーロだった。ギリシャ政府と EU、IMF は、GDP 伸び率を 0.6%と予想していた。なお、改定値は 10 月 9 日に発表される。

④メルケル独首相は、来週 17 日、ベルリンでドラギ ECB 総裁と会談する。ドイツ政府のザイベルト報道官が 13 日、明らかにした。「現在のユーロ圏をめぐる問題に関する定期的な意見交換」とし、それ以上の詳細については言及を避けた。ECB は今週 9 日から量的緩和を開始している。

3 : 50

NY 金は、中心限月が前日比 0.50 ドル高の 1 オンス=1152.40 ドルで取引を終了した。

4 : 35

NY 原油は、中心限月が前日比 2.21 ドル安の 1 バレル=44.84 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1152.40	+0.50
NY 原油	44.84	-2.21

(出所: SBILM)

#### ◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、米卸売物価指数が市場の予想に反して下落し、米国の利上げ開始が遅れるとの見方が広がったことから買いが先行した。ただ、ドルがユーロなどに対して上昇したことから、ドルの代替資産とされる金の売りも出て、上げ幅を縮小する動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

#### ◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、IEA (国際エネルギー機関) が、月報で米国の原油供給が増加し、価格が再び下落する可能性があるとして警告したことが嫌気された。また、ドルがユーロなどに対して上昇し、ドル建ての原油割高感が出たことも圧迫材料となった。終値ベースでは、1月下旬以来約1ヵ月半ぶりに45ドル台を割り込んで引けた。



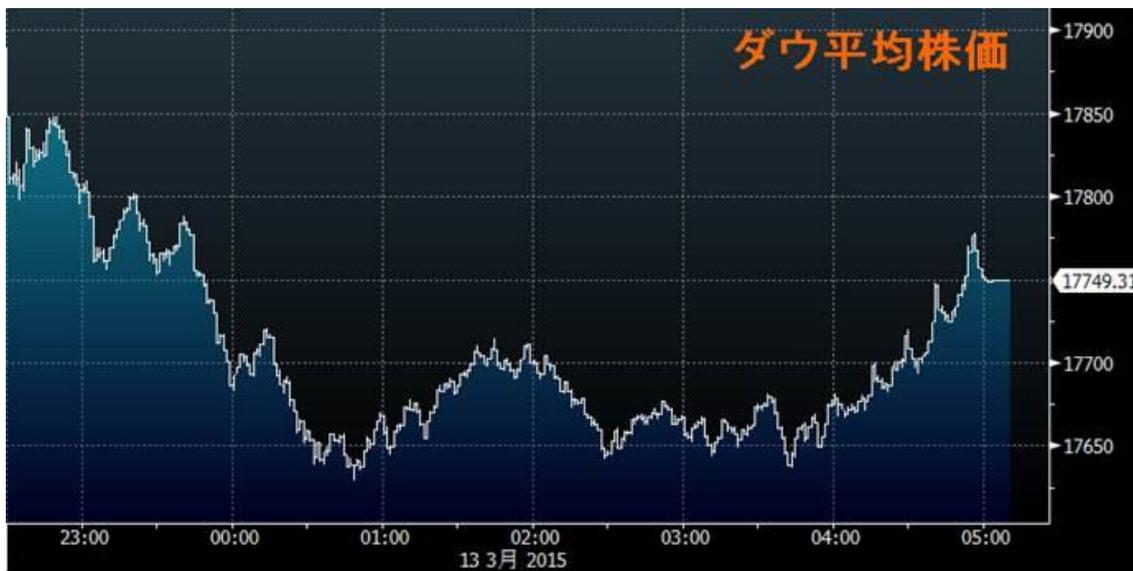
(出所: ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17749.31	-145.91	17889.05	17629.89
S&P500 種	2053.40	-12.55	2064.56	2041.17
ナスダック	4871.76	-21.53	4904.47	4842.80

(出所: SBILM)

### 《米株式市場》

米株式市場は、米国の物価関連や消費者関連の経済指標が市場予想を下回ったことから、米経済への楽観的な見方が後退したことを受けて、主要株価は軟調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きが続き、一時前日比で 265 ドル安まで下げる動きとなった。ただ、終盤にはやや下げ幅を縮小する動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	121.37	121.57	121.14
EUR/JPY	127.35	128.60	126.90
GBP/JPY	178.98	179.89	178.25
AUD/JPY	92.61	93.10	92.31
NZD/JPY	88.95	89.31	88.69
EUR/USD	1.0494	1.0599	1.0462
AUD/USD	0.7632	0.7669	0.7610

(出所: SBILM)

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標が予想を下回る結果となったことを受けて、株価が大きく下落となり、投資家のリスク回避の動きが強まったことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、終盤には株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円も値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。